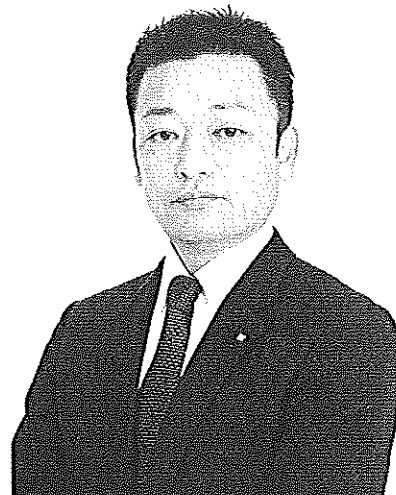


◆ ご 挨 拶 ◆

キンボールスポーツチャリティカップ宝塚2011実行委員会
実行委員長 小泉 順



はじめに、東日本大震災により被害に遭われた被災地の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

私の所属する社団法人宝塚青年会議所では、2007年より青少年健全育成事業の一環として、キンボールスポーツの普及を推進して参りました。その集大成として、キンボールスポーツワールドカップを宝塚の地へと誘致を行い、本年11月に開催することが決定しておりました。

行政・各団体と共に実行委員会を立ち上げ、開催に向け準備をしていた矢先、3月11日の東北地方を中心に甚大な被害をもたらした東日本大震災とその余波により、大会中止という苦渋の決断がなされました。

大会中止の報告を受けた際、誰もが言葉を失いました。しかし、「今、私たちにできることは何か」を熟考した結果、「宝塚から日本に元気を！」をスローガンとした被災地の支援を行う「キンボールスポーツチャリティカップ」を企画することとなりました。

早速、各協力団体に打診をしたところ、多くの皆様にその趣旨をご理解、ご賛同いただくことができ、本日開催の運びとなりました。

また、本大会では開催までの期間が大変短かったにもかかわらず、被災地支援の気持ちを持った多くのキンボーラーの皆様にご参加いただき、盛大に大会を開催できることに大変感激をしております。

実行委員長として全身全霊をもって大会運営に尽力することをお誓い申し上げます。

本大会ではご参加いただいた皆様にお楽しみいただけるよう、様々に趣向を凝らしたイベントをご用意いたしました。キンボールスポーツ大会の地としてだけでなく、お時間の許す限り宝塚の地を満喫していただくことで、この宝塚の地に集められた皆様のパワーが被災地へのメッセージとして発信され、また、皆様の気持ちとして集められる支援金が、被災地の復興支援にお役に立つことを切に願っております。

最後に、はるばるこの宝塚の地へ大会出場のためにお越しいただいた全国のキンボーラーの皆様に心から敬意を表するとともに、本大会を開催するにあたりご尽力いただきました関係諸団体、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。